



# 西院小の窓

学校だより「前期学校評価」特別号

平成27年 10月吉日

京都市立西院小学校校長 國重初美

<http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/saiin-s/>

## 前期学校評価の結果から

7月にご協力いただきました「前期学校評価」の集計結果と考察を報告させていただきます。今回も児童・保護者の方々・教職員による評価を実施いたしました。保護者の方々には、全体の約86%の方から回答をいただきました（昨年度88%）。お忙しい中ご協力いただき、ありがとうございました。

この結果をもとに、学校の様々な取組を再確認し、よりよい学校づくりに生かしていきます。

### <児童アンケートの結果から>

- ・ 学習に向かう姿勢を問う質問①③④⑤に対して、肯定的な回答（「よくあてはまる」、「あてはまる」）の児童が、80%以上いました。①「先生や友達の話をよく聞いて学習している」については、90%以上で、後期も、主体的に学ぼうとする姿勢をより高めていくとともに、否定的な回答をした児童が減少するような授業づくりや個別の支援について、研究・実践していきたいと思います。
- ・ 主に生活習慣について問う質問⑥～⑫に対して、⑦⑧は90%以上、その他は80%以上が肯定的な回答をしています。⑥の「学校が楽しい」については、昨年度の後期よりもさらに1%増加しており、年度初めの学級づくり・学校全体の取組等がよりよくなっていると捉えることができます。
- ・ ⑫の「気持ちの良い挨拶をしている」への回答は、86%→88%と増加しています。5月の憲法月間に「西院の子 心でつながる 5つの約束」の一つである「心のかよったあいさつ」について考え、実践してきた成果と捉えることができます。また、よびかけ委員会による朝のあいさつ運動、PTA活動の「いってらっしゃいの日」等、様々な取組によるものです。今後も、引き続きこれらの取組を進め、自分から気持ちのよいあいさつができる児童を育てていきたいと思います。
- ・ ⑩「忘れ物をしないようにしている」⑪「早寝・早起き・朝ごはん・はい便などに気を付けている」という項目については、肯定的な回答が昨年度より2～3%増加しました。ご家庭からの働きかけや生活点検の振り返りなどにより、自分の生活をよりよくしようとする態度が高まっていると言えます。
- ・ ⑥「朝読書などで、進んで本を読んでいる」は、昨年度より3%減少しました。今年度は、「進んで」という文言を追加したことも一因であると考えられますが、今後も、児童が主体的に読書に親しむ姿が増加するよう、図書館や学級での図書の実質を図り、読みたくなる本に触れる機会を増やしていきたいと考えています。
- ・ ⑨「家で宿題や他の学習をしている」は、昨年度より6%減少しました。今年度は、「他の学習」という文言を追加しました。宿題以外の学習も進んで行う児童に育てていきたいと思います。

＜保護者から見た児童への評価結果から＞（「家で大切にしていること」の回答結果も含む。）  
児童の様子について「学校での様子」と「家庭・地域での様子」についてお答えいただきました。

- ・「学校での様子」において、質問①～③のおもに授業中の姿については、肯定的な回答が80%を超えていました。児童が授業に集中し、頑張っていることが保護者の方々に伝わっていると捉えることができます。一方で、質問④「わかるまで粘り強く学習している」については、肯定的な回答が69%としかありませんでした。これは、学習が定着するまで繰り返し学習する姿や難しい問題に挑戦しようとする姿を望んでおられるのではないかと思います。西院小学校では、基礎学力の定着を図る帯時間（トライタイム）の活用や研究教科「算数」で、子どもが「わかった」「できた」と満足感が得られる授業の研究を行っています。日々の活動や授業の工夫により、子どもたちが粘り強く学習していけるようにしたいと思います。
- ・読書に関する質問⑤での肯定的な回答結果が、前年度の65%から今年度は63%へと減少しています。学校では朝読書の時間の設定、読み聞かせサークルの方々の様々な活動、図書委員会による読書活動の推進が進められております。家庭での読書時間は「読書の時間を設けている」という項目に○が付けられている割合は全体の25%で昨年度の20%を上回っています。今後も、家庭での読書の機会が増えるようご協力をお願いいたします。
- ・「家庭・地域での様子」において、⑨「学習に必要なものを持っている」⑩「早寝・早起き・朝ごはん・はい便などに気を付けている」という項目については、児童アンケートと同様、肯定的な回答が昨年度より増加しました。子どもたちが、「忘れ物をしないようにしよう。」「健康な毎日を過ごそう。」と自分を高めようとする姿を家庭でも見せていることが分かります。
- ・⑪「自分から気持ちのよい挨拶をしている」については、児童アンケートとは異なり、昨年度より2%減少していました。家庭では「家族は、自分から気持ちのよい挨拶をするようにしている。」という項目で、○が付けられている割合は全体の75%で昨年度の73%を上回っています。このことから、学校だけでなく家庭や地域でも多くの方から挨拶をしていただく機会が増えていると捉えられます。多くの方々からの挨拶に答えるだけでなく、自ら挨拶をしていけるように働きかけていきたいと思ひます。

＜保護者による学校・教職員に対する評価結果から＞

- ・今年度も⑫～⑮のすべての項目で、肯定的な回答90%以上の高評価をいただきました。ありがとうございます。保護者・地域の皆様のご意見を大切にしながら、学校・学級での取組をより発展・充実させていきたいと思ひます。

#### 家で大切にしていること

①子どもの話をしっかり聞いている。	72%	⑧家庭学習ができるように働きかけ、環境を整えている。	61%
②家庭では、子どもとの対話を大切にしている。	79%	⑨忘れ物がないように、子ども自身が点検する習慣を付けている。	66%
③家庭では、子どものよさを認めて、励ましている。	70%	⑩基本的な生活リズムが身につくように条件を整え、家族で取り組んでいる。	67%
④子どもが物事に最後まで取り組めるように励ましの声かけをしている。	67%	⑪家族は、自分から気持ちのよい挨拶をするようにしている。	75%
⑤読書の時間を設けている。	25%	⑫日頃の学習の様子について聞いている。	59%
⑥子どもにも家族の役割分担をさせている。	48%	⑬学校から配られるプリント（学校だより、学年・学級だより・ホームページ等）は必ず見ている。	74%
⑦学習のことや学校での出来事について、子どもと一緒に話している。	74%	⑭参観・懇談など、学校によく足を運んでいる。	66%